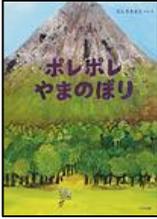




しょうがっこうていがくねん《1・2年生》のみなさんへ

なつ休みおすすめ本リスト

登別市立図書館 [2015年版]

| | しょめい さくしやめい しゅっぱんしゃ | ないよう |
|-----|--|--|
| えほん | <p>「うごいちゃだめ！」</p>  <p>エリカ・シルヴァマン 文 S. D. シンドラー 絵 せな あいこ 訳 アスラン書房</p> | <p>あひるとがちょうは、「どっちがいちばん」のくらべっこをしていて、「うごいちゃだめ」のきょうそうをはじめました。ハチがきても、ウサギがきても、じっとしたままうごきません。そんなとき、キツネがあらわれて…。</p> |
| えほん | <p>「のりができるまで」</p>  <p>伏屋 満 監修 北川 暢男 写真 ひさかたチャイルド □</p> | <p>「のり」は、どこでどうやってつくられているの？「のり」のタネをつけたアミをうみに入れるところから、パリパリの「のり」ができあがるまでを、よろしく場のしゃしんで、しょうかいします。</p> |
| えほん | <p>「くつがいく」</p>  <p>和歌山 静子 作 童心社 □</p> | <p>じぶんのくにや、ぐんたいが、ほかのくにでなにをしたのか…。へいたいのかつをとおして、ほんとうのせんそうをすることや、へいわをまもることのたいせつさをえがいています。</p> |
| えほん | <p>「ペロペロキャンディー」</p>  <p>ルクサナ・カーン 文 ソフィー・ブラッコール 絵 もりうち すみこ 訳 さ・え・ら書房</p> | <p>たんじょうかいによばれたルビーナは、たのしみでたまりません。ところが、おかあさんにいもうとのサナをつれていくように言いつけられてしまいます。おもったとおり、サナはたんじょうかいで、さんざんルビーナをこまらせ…。</p> |
| えほん | <p>「ポレポレやまのぼり」</p>  <p>たしろ ちさと 文・絵 大日本図書 □</p> | <p>あわてんぼうのやぎくん、おちょうしもののはりねずみくん、しっかりもののぞうくんが、山のぼりに出かけました。きょうは山のちようじょうで、くもの上をながめたりキャンプをしたり、たのしい一日になりそうです。</p> |

| | しょめい さくしやめい しゅっぱんしゃ | ないよう |
|-----|--|---|
| としよ | <p>「くまの子ウーフ」</p>  <p>神沢 利子 作 井上 洋介 絵 ポプラ社 □</p> | <p>きょうもウーフは「なんで？」「どうして？」ときもんがいっぱい。あそぶこと、たべること、そして、かんがえることが大すきな、くまの子ウーフのおはなしです。</p> |
| としよ | <p>「一さつのおくりもの」</p>  <p>森山 京 作 鴨下 潤 絵 講談社 □</p> | <p>おおあめがふりつづいたせいで、クマタのすむ町の山のむこうの村が水びたしになってしまいました。こまっているこどもたちに、なにかしてあげたくてクマタは、いちばんだいじにしていた「えほん」をプレゼントすることにしましたが…。</p> |
| としよ | <p>「たっくんのあさがお」</p>  <p>西村 友里 作 岡田 千晶 絵 PHP研究所 □</p> | <p>4月から1年生になった友子。ひとつだけしんばいなことは、となりのせきが、たっくんだということです。たっくんは大きくてちからがつよくて、ちょっとこわいのです。ある日、友子はたっくんのあさがおのうえきばちをたおしてしまっ…。</p> |
| としよ | <p>「カステラやさんときんいろのおさかな」</p>  <p>堀 直子 作 神山 ますみ 絵 小峰書店 □</p> | <p>いたちの子どもたちは、みずうみでおさかなにばけて、きもちよさそうにおよんでいます。ところが、男の人につり上げられてしまいました。ナナとおかあさんたちは、子どもたちをたすけだすことができるでしょうか？</p> |
| としよ | <p>「のっぺらぼうのおじさん」</p>  <p>そうま こうへい 作 タムラ フキコ 絵 講談社 □</p> | <p>よるのこうえんでであった、にがおえがきのおじさんは、じつはのっぺらぼう。「かおをかいてくれ」といわれたぼくは、ゆうきをだして、おじさんのかおをかいてあげました…。こわくて、こころあたたまるおはなしです。</p> |